相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL(0791)23-0800

HPのQRコード

二学期始業式

９月１日(金)、２学期始業式を行いました。

小田校長からは、なりたい自分になるための行動とコミュニケーション能力についてのお話がありました。

―校長式辞より一部抜粋―

『まずはなりたい自分、目標とする自分と現状の自分をきちんと把握することです。目標と現状とのギャップをどうやって埋めていけばよいかを考えてください。現状の自分を目標に近づけていくために何をしなければならないかを真剣に考えて実行するのです。

何回も言いますが、皆さんは「なりたい自分になる」ことができる大きな可能性を持っています。その可能性を伸ばすかどうかは皆さん一人一人の生き方すなわち時間の使い方次第だということです。時間は誰にも平等に１日24時間ずつ与えられています。その限られた時間を自分の成長のため、あるいは人のため、社会のために有効に使えていますか？

もう一つお願いしたこと覚えていますか？夏休みのエピソードを人に話ができるように考えておいてくださいということです。

コミュニケーション能力を伸ばすために自分が考えたことや経験したことを人にどう伝えるかを考える習慣を身につけてほしいということです。困ったときに助けてもらったり、困っている人がいれば助けてあげたりという良好な人間関係を築く力があればどんな社会でもたくましく生きていくことができるはずです。人間関係づくりが苦手だという人こそ意識して人とかかわるようにしてください。

みんなで協力して感謝と笑顔のあふれる２学期にしていきましょう。』

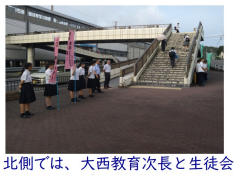
始業式に続いて、表彰伝達式では、県大会に出場した吹奏楽部が表彰されました。

さわやか挨拶運動

９月15日(金)、２学期最初の「さわやか挨拶運動」を実施しました。早朝から生徒会役員が集まり、相生駅周辺のゴミ拾いを実施しました。今日もたくさんのゴミを回収することができました。

その後、生徒会と１年５組が挨拶運動を行いました。今月は、相生市全域でのさわやか挨拶運動実施月ということで、相生市の大西教育次長もご参加くださいました。ありがとうございました。

相生駅の南北で、生徒会と１年５組の生徒のさわやかで元気な挨拶の声が響きわたる、「さわやか挨拶運動」でした。



北側では、大西教育次長と生徒会が元気に明るく。

朝から、しっかり、ごみ拾い！

１年５組も
しっかり頑張りました。

相生歴史巡検

９月24日(日)、秋晴れの快晴の中、今年も松本恵司先生を講師に迎え、相生歴史巡検を行いました。２年生４名・１年生１名の５名が参加しました。

最初に、狐塚古墳跡を訪れました。ここは古墳時代中期の横穴式石室を持つ古墳です。

次に那波八幡神社です。鎌倉時代、源氏の家臣であった地頭海老名氏によって建立されました。

八幡神社
戦時標準船の絵馬

那波八幡神社

次に平安歌人の和泉式部ゆかりの得乗寺です。和泉式部一行が相生に来た時に雨に遭い、雨宿りをした『和泉式部雨宿りの栗の木』があるお寺です。

雨宿りの栗の木

次に大島城跡を訪れました。鎌倉時代、赤松則村（円心）が大島城を築きました。伝承によると南北朝の動乱で落城したといわれています。

次に大避神社と秦河勝播州漂着説之事の碑へ行きました。大避神社は聖徳太子の家臣の秦河勝を祀る神社です。

大避神社

最期に旭の弁天社（厳島神社）へ行きました。ここは播磨造船所の社員街に建てられた祠です。大嶋城鎮護のため双子嶋に江の島の弁才天を勧請しました。当時は船でお参りしていましたが第一次世界大戦中に播磨造船所の社宅を建築するために弁天浜を埋め立て地続きになりました

松本先生の、相生歴史よもやま話を堪能し、ふるさと相生を振り返る素晴らしい一日となりました。

―生徒の感想―

歴史巡検に参加したのは初めてだった。行ってみると相生の歴史について興味深い話が聞けたのでよかった。特に興味深かった話は「相生」という名前の由来の話だった。意外に有名な豪族がかかわっていたので、相生にもしっかりした歴史があることにびっくりした。他にも神社やお寺の中に入っていろいろ珍しいものが見れた。特にお寺では和泉式部ゆかりのしだれ栗が見れるなど貴重な経験ができた。講師の先生は相生の歴史や文化財について熱心に話していただいたので、改めて歴史や文化財の大切さが分かった。自分も地域の歴史や文化財を守れるような人間になりたい。